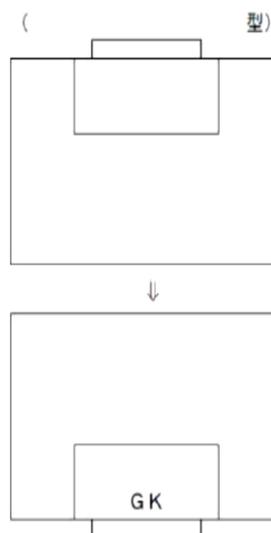


実技21「2次リーグ戦 第3節」

いよいよ最後のゲームとなりました。これまで学習してきたことを確かめる最後の試合となります。2次リーグ戦では、攻めから守り、守りから攻めへのフォーメーションを安定させることを目的にゲームを行ってきましたが、それは確立できているでしょうか。ゲームの前に綿密な打合せを行ってからゲームに臨むようにしましょう。



(1) 攻撃・守備のシステム練習

＜自分たちの攻撃の形（型）＞

①どんなフォーメーションで攻めるのか？（攻め・守り）

②4人の動きについて共通理解をする。

（パスをもらったらどう動くか？ボール保持者以外の動きは？）

（相手にボールを取られたら、どう守るのか？）

ここをしっかりとっておかないとただゲームをやるに過ぎなくなり、学習にはなりません。基本的な動きの共通理解を図ります。

＜攻めから守りへ＞

相手にボールを取られたら、すぐに自分のポジションに戻る。または、攻めの時に予め守っていたDFが早く戻り、ボール保持者の進路を防ぐ、その間に味方が戻る。などの連携は出来ているでしょうか？

(2) ゲーム（2次リーグ戦1節）

リーグ戦の始まりです。5分間の試合を2試合行います。前半、後半と同じチームとの対戦を2試合行います。試合ごとに、メンバーチェンジとポジションチェンジを行います。

＜本日の試合＞

※ゲーム時間7分

	1試合目、3試合目		2試合目・4試合目	
対戦	1班	対 3班	2班	対 4班
審判・記録・線審	(2班)		(4班)	(1班) (3班)

(3) 毎回の授業の流れ

＜ゲームを行うその日の授業ですること＞

※まず、GK、R（リザーブ）を決める。フィールドプレイヤーの回数を均等にする。

①ゲームを行い、データを取る（記録のグループが心電図を取ります。）

②ゲームの集計・記録、ゲームの流れを記述（試合後にミーティングルームで）

ゲームが終わると、心電図を見て、触球数、シュート数など、ゲームで取ったデータをまとめ、グループノートに記入します。また、心電図、アナウンスの2人がゲームの流れを文章化します。

（特に、得点場面を事実に基づき記入。また、ゲームの勝因なども分かれば書いておく。）

(4) ゲームの集計・記録（ミーティングルーム）

・審判のチームが記録した心電図から、全触球数（相手も）支配率、攻撃数、攻撃成功数、攻撃成功率、シュート数、シュート成功数、シュート成功率、アシスト数を出します。（心電図の記録をノートに転記）

・ゲームの様子について、文章表記されたものを転記します。

(5) 授業の振り返り

今回で実技は最後なので、時間を取って、今までの授業の振り返りを行います。